

I 調査の概要

本調査は、第2次伊豆市総合計画における様々な市の取り組みに対する市民の評価をするとともに、今後の施策展開に生かしていくことを目的として実施した。

実施方法	・調査対象：伊豆市在住の20歳以上の男女1,200人 ・抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出 ・調査方法：郵送による配布・回収 ・調査期間：平成29年6月16日～平成29年7月5日		
	回収状況	対象者数	有効回収数
	1,200人	420人	35.0%

II 調査の結果

1. 回答者の属性

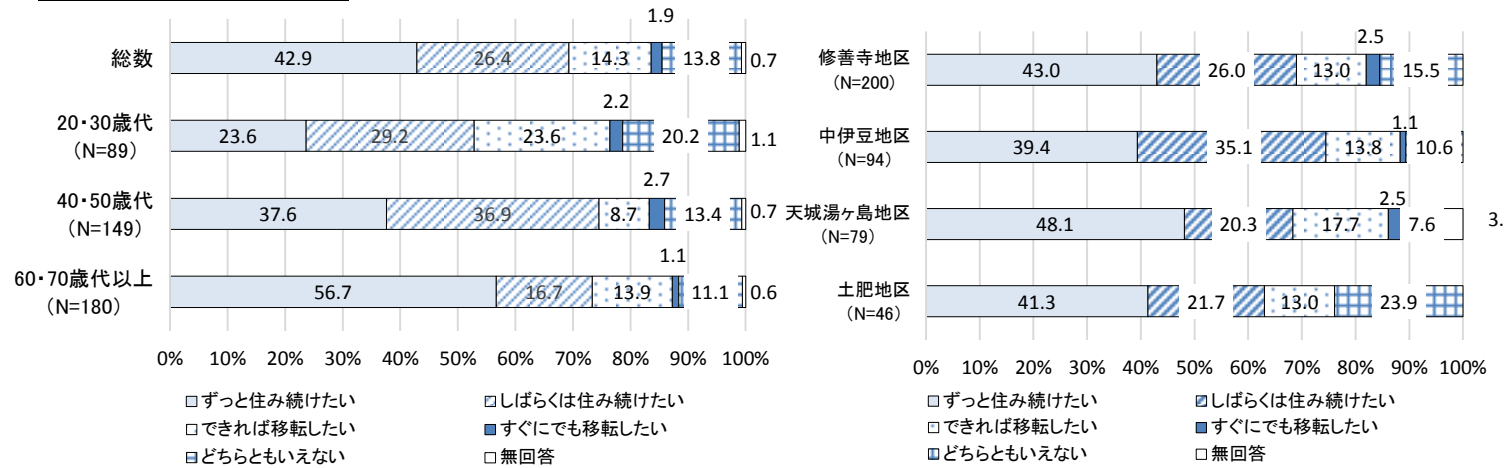
性別：「女性」52.9%、「男性」46.4%

年齢：「20歳代」7.9%、「30歳代」13.3%、「40歳代」16.2%、「50歳代」19.3%、「60歳代」26.4%、「70歳以上」16.4%

居住地域：「修善寺地区」47.6%、「中伊豆地区」22.4%、「天城湯ヶ島地区」18.8%、「土肥地区」11.0%

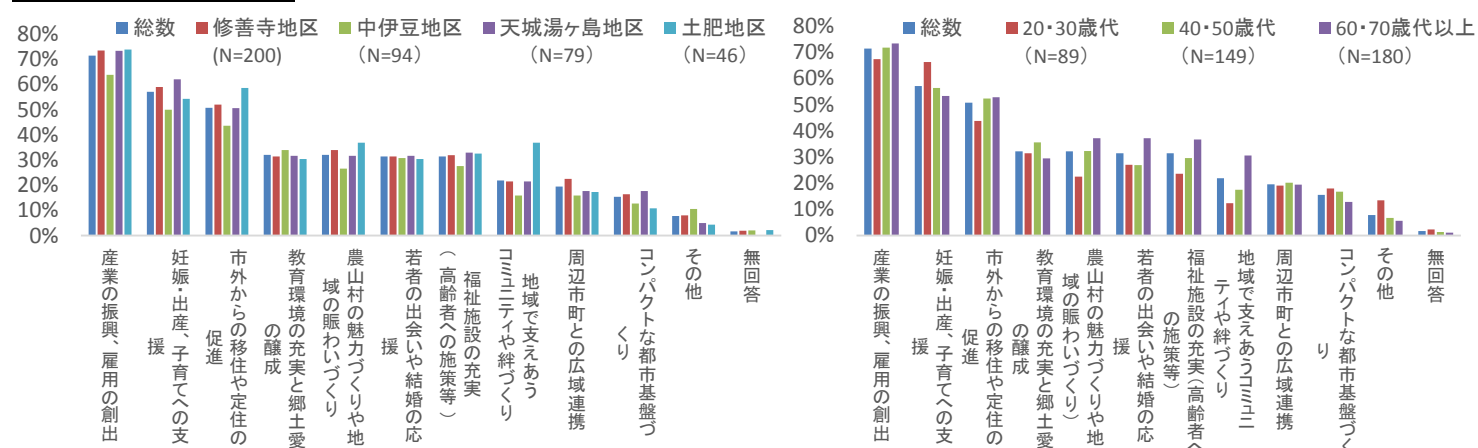
2. 人口問題について

今後の居住意向について



「ずっと住み続けたい」と「しばらく住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』は約7割となっている。ただし20・30歳代の『住み続けたい』割合は約5割となっている。中伊豆地区が74.5%と最も高い一方で、土肥地区は63%と最も低い。

人口減少対策について

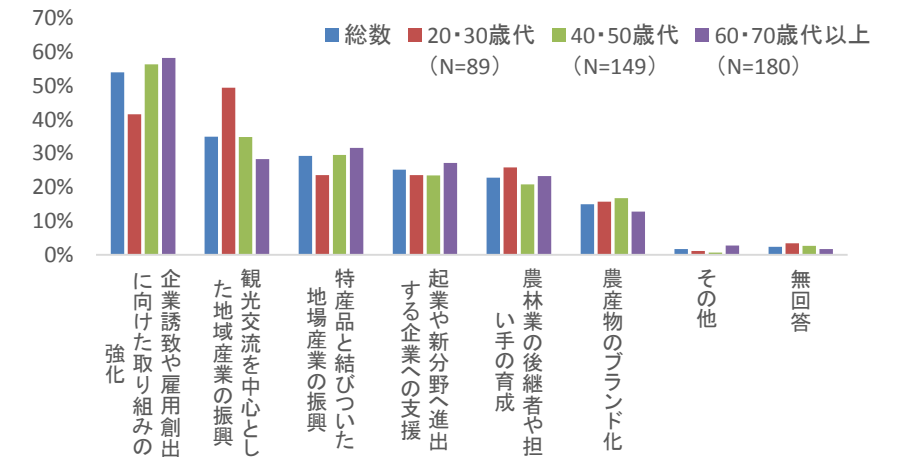


人口減少対策について、「産業の振興、雇用の創出」(約7割)、「妊娠・出産、子育てへの支援」(約6割)、「市外からの移住や定住の促進」(約5割)、「教育環境の充実と郷土愛の醸成」(約3割)、「農山村の魅力づくりや地域の賑わいづくり」(約3割)などの対策が必要とされている。地区別にみると、「妊娠・出産、子育てへの支援」については天城湯ヶ島地区、「市外からの移住や定住の促進」については土肥地区のニーズが最も高い。年代別にみると、20・30歳代からの「妊娠・出産、子育てへの支援」が66.3%と突出して多くなっている。

4. 市政やまちづくりへの市民参加等について (年代別分析)

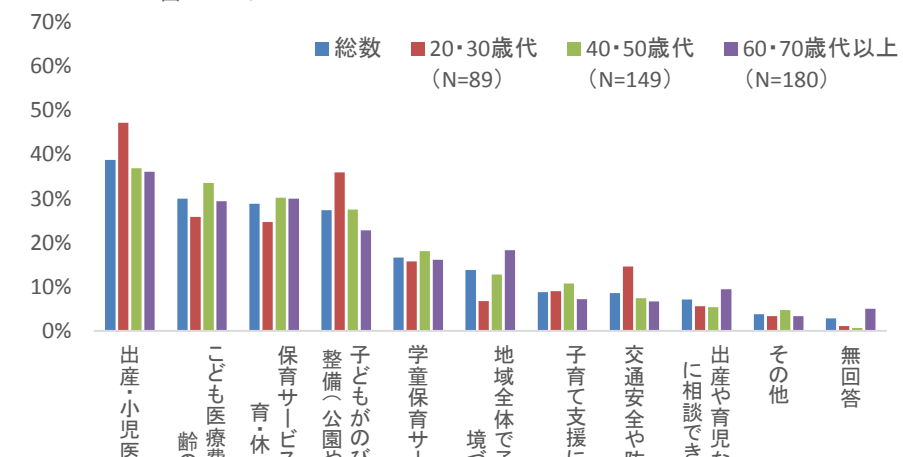
産業力を強化するための取り組みについて

全体をみると、「企業誘致や雇用創出に向けた取り組みの強化」が54.0%と最も多く、次いで「観光交流を中心とした地域産業の振興」、「特産品と結びついた地場産業の振興」となっている。年代別にみると、「企業誘致や雇用創出に向けた取り組みの強化」については、40歳代以上のニーズが高いのに対し、「観光交流を中心とした地域産業の振興」については、20・30歳代のニーズが最も高く突出している。



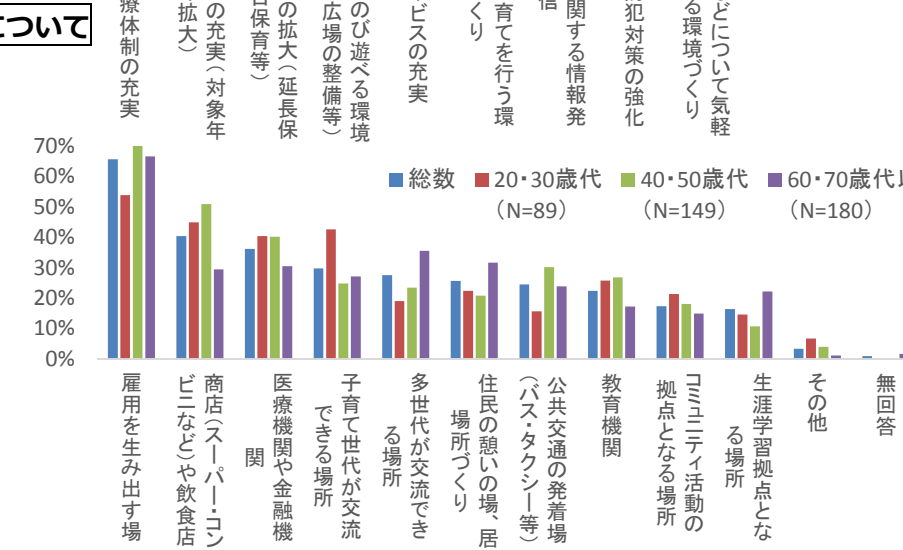
子育て支援策として重要な施策について

全体をみると、「出産・小児医療体制の充実」が38.8%と最も多く、次いで「こども医療費の充実」、「保育サービスの拡大」となっている。年代別にみると、「出産・小児医療体制の充実」や「こどもがのびのび遊べる環境整備(公園や広場の整備等)」については20・30歳代からのニーズが突出している。



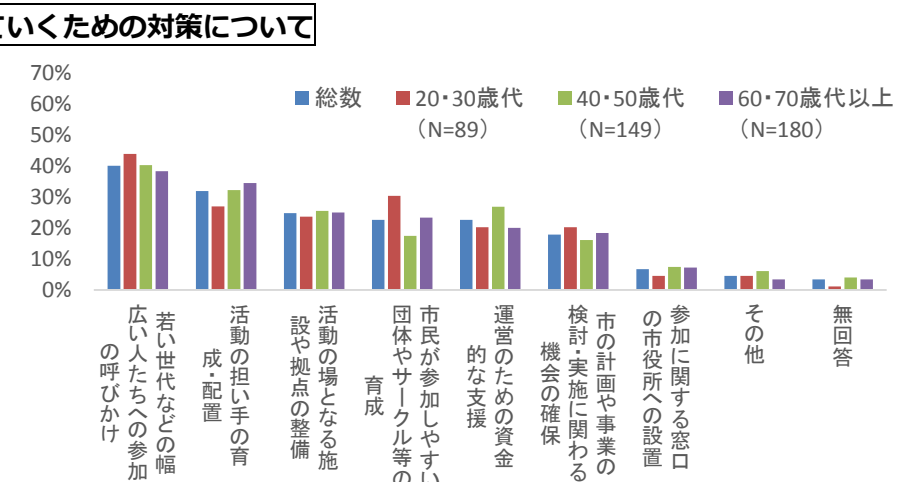
各地域の賑わいを創出するために必要な機能について

全体をみると、「雇用を生み出す場」が65.7%と最も多く、次いで「商店(スーパー・コンビニなど)や飲食店」、「医療機関や金融機関」となっている。年代別にみると、20・30歳代は「雇用を生み出す場」のニーズが低い一方、「子育て世代が交流できる場所」のニーズが高い。また、60・70歳代以上は、「商店(スーパーやコンビニなど)や飲食店」のニーズが低い一方、「多世代が交流できる場所」や「住民の憩いの場、居場所づくり」などのニーズが高い。



市政やまちづくりにおいて市民の参加を進めていくための対策について

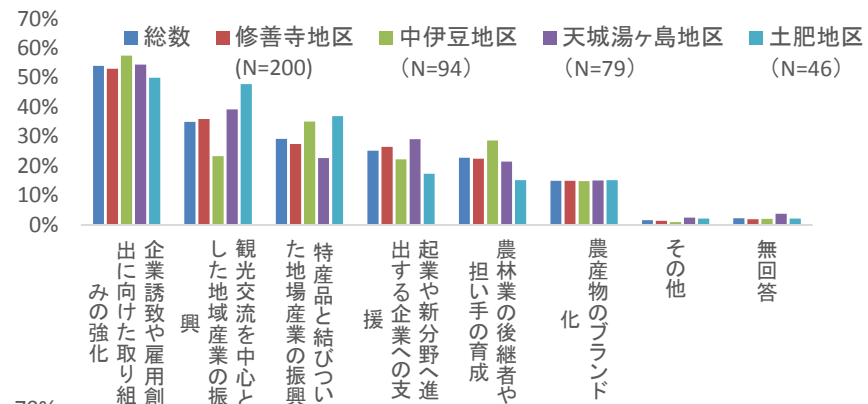
全体をみると、「若い世代などの幅広い人々への参加の呼びかけ」が40.0%と最も多く、次いで「活動の担い手の育成・配置」、「活動の場となる施設や拠点の整備」となっている。年代別にみると、「市民が参加しやすい団体やサークル等の育成」については、20・30歳代からのニーズが最も高い。全体的に、年齢層によるばらつきは少ないといえる。



4. 市政やまちづくりへの市民参加等について（地区別）

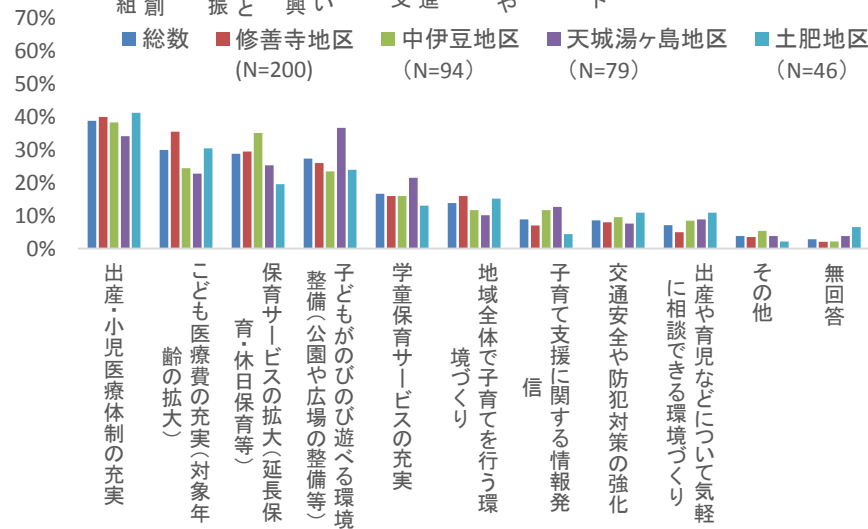
産業力を強化するための取組みについて

地区別にみると、修善寺地区、中伊豆地区、天城湯ヶ島地区、土肥地区において「企業誘致や雇用創出に向けた取組みの強化」が5割を超えて多くなっている。また、土肥地区において、「観光交流を中心とした地域産業の振興」に対するニーズが突出して高い一方で、中伊豆地区においては低くなっている。



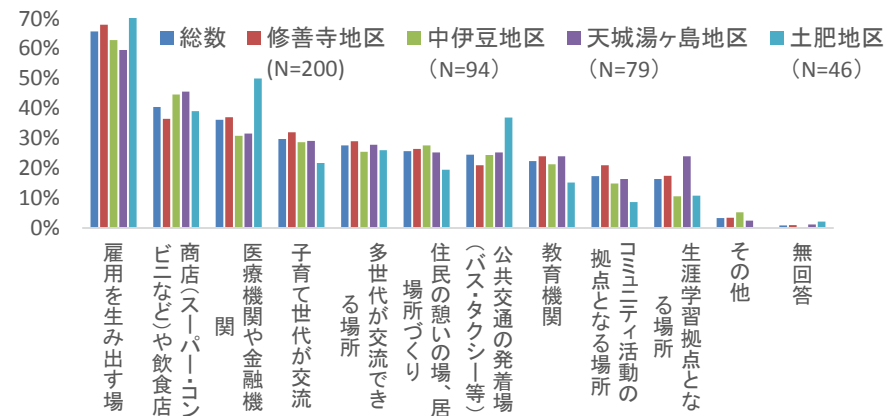
子育て支援策として重要な施策について

地区別に見ると、天城湯ヶ島地区において、「子どもがのびのび遊べる環境整備(公園や広場の整備等)」に関するニーズが突出して高い。また、中伊豆地区において「保育サービスの拡大(延長保育・休日保育等)」に関するニーズが高い一方で、土肥地区において「保育サービスの拡大(延長保育・休日保育等)」「学童保育サービスの充実」に対するニーズが低い。



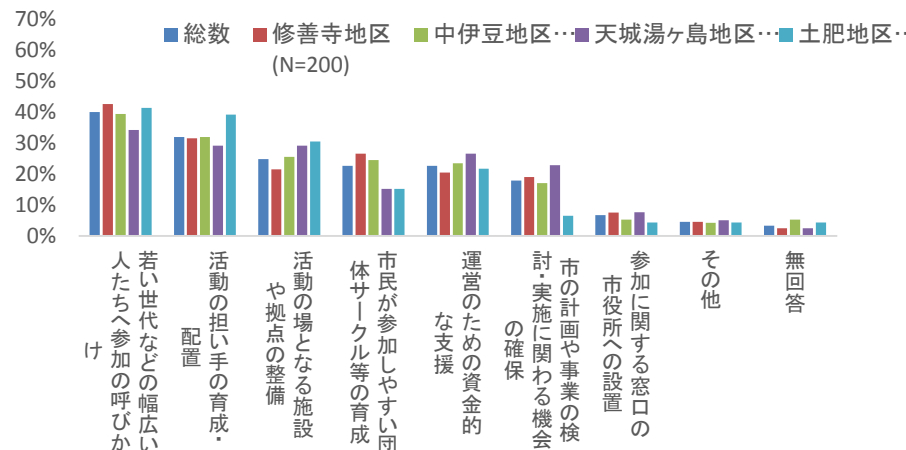
各地域の賑わいを創出するために必要な機能について

地区別に見ると、土肥地区において「雇用を生み出す場」「医療機関や金融機関」「公共交通の発着場(バス・タクシー等)」に関するニーズが高い。天城湯ヶ島地区においては「商店(スーパー・コンビニなど)や飲食店」「生涯学習拠点となる場所」に関するニーズが高くなっている。



市政やまちづくりにおいて市民の参加を進めていくための対策について

地区別で見ると、修善寺地区、土肥地区において「若い世代などの幅広い人たちへ参加の呼びかけ」が4割を超えて多く、土肥地区において「活動の担い手の育成・配置」に関するニーズが高くなっている。一方で、土肥地区においては、「市の計画や事業の検討・実施に関わる機会の確保」に関する、天城湯ヶ島地区・土肥地区においては「市民が参加しやすい団体サークル等の育成」に関するニーズが低い。



5. 伊豆市の施策に対するご意見と満足度・重要度（20～30 歳代の特徴）

■伊豆市の施策について

20・30 歳代において、満足度が低く、重要度が高い施策としては、「④道路・公共交通の整備」、「⑮地域産業を担う人材の育成・確保」、「⑯教育環境の充実」が挙げられる。

一方で、満足度が高く、重要度が低い施策としては、「⑤健診や講座などの健康づくり活動」、「⑰豊かな自然環境の保全」、「⑱歴史・文化資源の保存、継承、活用」、「㉑各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援」が挙げられる。

以上より、「④道路・公共交通の整備」、産業力の強化に向けた「⑮地域産業を担う人材の育成・確保」「⑯企業誘致・留置の推進」、少子化対策と次代を担う「⑯教育環境の充実」、「㉑地域全体で子どもたちを育てる環境整備」などが重要だと考えられている。

青…満足度が低く、重要度が高い施策
赤…満足度が高く、重要度が低い施策
※全市の施策評価の平均値と比較した場合

大項目	項目	年代別	
		満足度 (評価点)	重要度 (評価点)
【1】機能的で魅力あるネットワーク型コンパクトタウンの形成	①魅力ある中心市街地づくり	-0.30	0.87
	②各地域における交流・賑わいの創生	-0.40	0.55
	③適切な公共施設の設置	-0.41	0.80
	④道路・公共交通の整備	-0.46	1.11
【2】安全で心地よい生活環境づくり	⑤健診や講座などの健康づくり活動	0.22	0.74
	⑥地域医療・消防・救急体制の確保	-0.13	1.23
	⑦高齢者への福祉サービスの充実	0.09	0.89
	⑧障がい者を支援する環境づくり	-0.08	0.71
	⑨都市計画の見直し	-0.40	0.87
	⑩良好な住環境の創出	-0.08	0.81
	⑪豊かな自然環境の保全	0.21	0.69
	⑫魅力ある景観の形成	0.03	0.88
	⑬地域防災・防犯体制の強化	0.08	1.00
【3】産業力の強化	⑭地域資源を活用した観光事業の推進	-0.07	0.93
	⑮地域産業を担う人材の育成・確保	-0.38	1.11
	⑯企業誘致・留置の推進	-0.43	0.91
	⑰農林水産品の6次産業化の推進	-0.23	0.70
	⑱起業・創業支援体制の充実	-0.26	0.63
	⑲空き店舗等の活用促進	-0.56	0.72
【4】個性的な市民文化の創造と情報発信	⑳地域づくり協議会制度の推進	-0.24	0.46
	㉑歴史・文化資源の保存、継承、活用	0.00	0.51
	㉒地域で活躍する人材や活動団体の育成	-0.14	0.60
	㉓まちのブランド化の推進	-0.25	0.90
	㉔戦略的なシティプロモーション(情報発信)	-0.45	0.86
【5】少子化対策と次代を担う人材育成	㉕子育て支援サービスの充実	-0.20	1.30
	㉖教育環境の充実	-0.51	1.32
	㉗小中連携教育の推進	-0.40	0.88
【6】その他	㉘地域全体で子どもたちを育てる環境整備	-0.41	0.98
	㉙各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援	-0.13	0.39
	㉚透明で効率的な行政運営	-0.38	0.86

【20～30 歳代のご意見（抜粋）】

- ・修善寺駅周辺(特に駅前商店街)に活気が無く寂しい。また、駅周辺の渋滞緩和に向け、信号機のタイミングの見直しや修善寺道路の無料化を検討してもらいたい。
- ・空き店舗や空き家が多く感じるため、それらを有効活用すべき。
- ・子育て支援の取組や自然豊かな環境での子育ての利点などといった良い部分を発信し、伊豆市に興味を持ってもらえるようなイメージに変えていく必要がある。
- ・豊かな自然のまちを活かした教育をお願いしたい。(地元で採れた新鮮な食材を給食に利用する等) このまちの魅力を感じない子どもが、大きくなって市外に流出してしまう結果になると思う。
- ・地域ぐるみでのコミュニケーションを大切にしながら、一つの市としての協力関係の構築を改めてつくるのが大切だと思う。
- ・雇用をもっと充実させると良い。そうすれば若い人や働き手も増え、人口も増えていく。
- ・温泉等の観光事業の継続と自然の保全を引き続きお願いしたい。
- ・オリンピックに向け、自転車のまちとしてPRするのなら、自転車専用レーン等を整備した方が良い。

5. 伊豆市の施策に対するご意見と満足度・重要度（40～50 歳代の特徴）

■伊豆市の施策について

40・50 歳代において、満足度が低く、重要度が高い施策としては、「④道路・公共交通の整備」、「⑤地域産業を担う人材の育成・確保」、「⑩企業誘致・留置の推進」、「⑨空き店舗等の活用促進」、「⑮子育て支援サービスの充実」、「⑯教育環境の充実」が挙げられる。
一方で、満足度が高く、重要度が低い施策としては、「⑤健診や講座などの健康づくり活動」、「⑯地域づくり協議会制度の推進」、「⑰各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援」が挙げられる。

以上より、「④道路・公共交通の整備」、産業力の強化、「⑯まちのブランド化の推進」、「⑰戦略的なシティプロモーション」、少子化対策と次代を担う人材育成などが重要だと考えられている。

青…満足度が低く、重要度が高い施策
赤…満足度が高く、重要度が低い施策
※全市の施策評価の平均値と比較した場合

大項目	項目	年代別	
		満足度 (評価点)	重要度 (評価点)
【1】機能的で魅力あるネットワーク型コンパクトタウンの形成	①魅力ある中心市街地づくり	-0.32	0.66
	②各地域における交流・賑わいの創生	-0.53	0.61
	③適切な公共施設の設置	-0.52	0.87
	④道路・公共交通の整備	-0.54	1.28
【2】安全で心地よい生活環境づくり	⑤健診や講座などの健康づくり活動	0.11	0.70
	⑥地域医療・消防・救急体制の確保	-0.17	1.20
	⑦高齢者への福祉サービスの充実	-0.01	0.86
	⑧障がい者を支援する環境づくり	-0.23	0.85
	⑨都市計画の見直し	-0.48	1.04
	⑩良好な住環境の創出	-0.33	0.94
	⑪豊かな自然環境の保全	0.04	0.77
	⑫魅力ある景観の形成	-0.24	0.83
	⑬地域防災・防犯体制の強化	-0.07	0.98
	【3】産業力の強化	⑭地域資源を活用した観光事業の推進	-0.37
⑮地域産業を担う人材の育成・確保		-0.52	1.23
⑯企業誘致・留置の推進		-0.80	1.26
⑰農林水産品の6次産業化の推進		-0.36	1.01
⑱起業・創業支援体制の充実		-0.51	0.99
⑲空き店舗等の活用促進		-0.78	1.08
【4】個性的な市民文化の創造と情報発信	⑳地域づくり協議会制度の推進	-0.23	0.58
	㉑歴史・文化資源の保存・継承、活用	-0.11	0.74
	㉒地域で活躍する人材や活動団体の育成	-0.22	0.68
	㉓まちのブランド化の推進	-0.37	1.06
【5】少子化対策と次代を担う人材育成	㉔戦略的なシティプロモーション(情報発信)	-0.45	1.01
	㉕子育て支援サービスの充実	-0.32	1.24
	㉖教育環境の充実	-0.54	1.24
	㉗小中連携教育の推進	-0.35	0.88
	㉘地域全体で子どもたちを育てる環境整備	-0.35	1.04
【6】その他	㉙各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援	-0.21	0.52
	㉚透明で効率的な行政運営	-0.36	1.10

【40～50 歳代のご意見（抜粋）】

- ・道路の整備（歩道・自転車用道路の確保）、将来的に自動車に乗れなくなった高齢者向けのバスサービス、サイクリングロードの整備等が必要である。
- ・伊豆の観光の玄関口である修善寺駅前を観光客用に活気づけたい。「修善寺に着いた！」と期待しているお客様に対して、駅前が寂しい。
- ・安心して子どもを産める環境でなければ、人口減少に歯止めは掛からないと思う。そのためには新しいものばかりをつくるのではなく、今あるものを見直して、無駄のない地域づくりが必要だと思う。
- ・教育に重点を置いていただきたい。国や地域(伊豆市)を支えていく人材に投資するのが良いと思う。
なお、校舎や設備にお金をかけるのではなく、教育の中身にお金をかけるべきだと思う。
- ・医療環境の充実。市内にしっかりとした病院を置くことが必要。
- ・企業誘致や雇用創出に向けた取組が必要。市に働く場所がなければ人は増えない。若い世代が伊豆市に住みたいと思うようなまちづくりを進めてほしい。
- ・農村地域も、その土地で取れたものを加工、販売する商業施設を建設したり、廃校を利用した野菜工場を運営するなど、個人では出来ないことを市が行うことで、雇用も増えると思う。

5. 伊豆市の施策に対するご意見と満足度・重要度（60 歳代以上の特徴）

■伊豆市の施策について

60・70 歳代において、満足度が低く、重要度が高い施策としては、「④道路・公共交通の整備」、「⑩企業誘致・留置の推進」が挙げられる。
一方で、満足度が高く、重要度が低い施策としては、「⑪豊かな自然環境の保全」、「⑫魅力ある景観の形成」、「⑰歴史・文化資源の保存・継承、活用」、「⑲各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援」が挙げられる。

以上より、「④道路・公共交通の整備」、産業力の強化に向けた「⑤地域産業を担う人材の育成・確保」、「⑩企業誘致・留置の推進」、「⑲透明で効率的な行政運営」などが重要だと考えられている。

青…満足度が低く、重要度が高い施策
赤…満足度が高く、重要度が低い施策
※全市の施策評価の平均値と比較した場合

大項目	項目	年代別	
		満足度 (評価点)	重要度 (評価点)
【1】機能的で魅力あるネットワーク型コンパクトタウンの形成	①魅力ある中心市街地づくり	-0.24	0.80
	②各地域における交流・賑わいの創生	-0.51	0.71
	③適切な公共施設の設置	-0.52	0.78
	④道路・公共交通の整備	-0.62	1.24
【2】安全で心地よい生活環境づくり	⑤健診や講座などの健康づくり活動	0.27	0.90
	⑥地域医療・消防・救急体制の確保	-0.01	1.13
	⑦高齢者への福祉サービスの充実	-0.02	0.87
	⑧障がい者を支援する環境づくり	-0.21	0.90
	⑨都市計画の見直し	-0.48	0.91
	⑩良好な住環境の創出	-0.26	0.79
	⑪豊かな自然環境の保全	0.03	0.67
	⑫魅力ある景観の形成	-0.17	0.71
	⑬地域防災・防犯体制の強化	-0.06	1.07
	【3】産業力の強化	⑭地域資源を活用した観光事業の推進	-0.21
⑮地域産業を担う人材の育成・確保		-0.55	1.10
⑯企業誘致・留置の推進		-0.66	1.14
⑰農林水産品の6次産業化の推進		-0.26	0.96
⑱起業・創業支援体制の充実		-0.45	0.80
⑲空き店舗等の活用促進		-0.66	0.84
【4】個性的な市民文化の創造と情報発信	⑳地域づくり協議会制度の推進	-0.31	0.68
	㉑歴史・文化資源の保存・継承、活用	-0.11	0.61
	㉒地域で活躍する人材や活動団体の育成	-0.26	0.78
	㉓まちのブランド化の推進	-0.26	0.91
【5】少子化対策と次代を担う人材育成	㉔戦略的なシティプロモーション(情報発信)	-0.30	0.76
	㉕子育て支援サービスの充実	-0.25	1.13
	㉖教育環境の充実	-0.29	1.12
	㉗小中連携教育の推進	-0.27	0.94
	㉘地域全体で子どもたちを育てる環境整備	-0.29	1.01
【6】その他	㉙各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援	-0.17	0.68
	㉚透明で効率的な行政運営	-0.47	1.09

【60 歳代以上のご意見（抜粋）】

- ・高齢者が気楽に参加出来る趣味や軽い運動、学習が出来る場所づくりが必要。高齢者が健康で生きがいがある地域にすべき。
- ・地域に眠っている財産を掘り起こし、第三者の視点での活用や知恵を出し合う機会を作っていく必要がある。
- ・若い世代を積極的に活用し、新しい観点を取り入れたまちづくりの推進が必要である。
- ・修善寺に集中しないで旧町にも拠点になる場所があれば良い。
- ・後継者が無く農業や林業が難しくなりつつある中、地域の林道の整備や田畑の維持が出来るように、地区全体で管理できるシステム、高齢者の働きやすい環境が出来れば、里山の回復も出来るのでは。
- ・医療や交通が充実すれば「住んでみたい」と感じてくれる人も出てくるのでは。自然の多い所で子育てしてみたいと思う若い人達もいると思う。
- ・伊豆市での企業誘致は期待出来る話では無いため、今ある地元の中小企業や商店が撤退、閉鎖しないよう、具体的な取組が必要である。
- ・伊豆市に住む者が、自分の暮らしている「まち」が好きであること、好きになること。この気持ちを一生持ち続けられるような「まちづくり」が大事だと思う。

5. 伊豆市の施策に対するご意見と満足度・重要度（修善寺地区の特徴）

■伊豆市の施策について

修善寺地区において、満足度が低く、重要度が高い施策としては、「④道路・公共交通の整備」、「⑤地域産業を担う人材の育成・確保」、「⑯企業誘致・留置の推進」、「⑳教育環境の充実」、「㉑透明で効率的な行政運営」が挙げられる。

一方で、満足度が高く、重要度が低い施策としては、「⑪豊かな自然環境の保全」、「⑫魅力ある景観の形成」、「⑭歴史・文化資源の保存、継承、活用」、「㉒地域で活躍する人材や活動団体の育成」、「㉓各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援」が挙げられる。

以上より、「④道路・公共交通の整備」、「⑤地域産業を担う人材の育成・確保」、「⑯企業誘致・留置の推進」などが重要だと考えられている。

青…満足度が低く、重要度が高い施策

赤…満足度が高く、重要度が低い施策

※全市の施策評価の平均値と比較した場合

大項目	項目	地区別	
		修善寺	
		満足度 〈評価点〉	重要度 〈評価点〉
【1】機能的で魅力あるネットワーク型コンパクトタウンの形成	①魅力ある中心市街地づくり	-0.28	0.91
	②各地域における交流・賑わいの創生	-0.43	0.62
	③適切な公共施設の設置	-0.48	0.79
	④道路・公共交通の整備	-0.51	1.19
【2】安全で心地よい生活環境づくり	⑤健診や講座などの健康づくり活動	0.25	0.84
	⑥地域医療・消防・救急体制の確保	-0.08	1.17
	⑦高齢者への福祉サービスの充実	-0.01	0.84
	⑧障がい者を支援する環境づくり	-0.19	0.81
	⑨都市計画の見直し	-0.44	0.91
	⑩良好な住環境の創出	-0.24	0.82
	⑪豊かな自然環境の保全	0.05	0.62
	⑫魅力ある景観の形成	-0.16	0.69
	⑬地域防災・防犯体制の強化	-0.05	1.02
	【3】産業力の強化	⑭地域資源を活用した観光事業の推進	-0.23
⑮地域産業を担う人材の育成・確保		-0.55	1.13
⑯企業誘致・留置の推進		-0.62	1.09
⑰農林水産品の6次産業化の推進		-0.34	0.88
⑱起業・創業支援体制の充実		-0.44	0.78
⑲空き店舗等の活用促進		-0.64	0.84
【4】個性的な市民文化の創造と情報発信	⑳地域づくり協議会制度の推進	-0.29	0.55
	㉑歴史・文化資源の保存、継承、活用	-0.08	0.63
	㉒地域で活躍する人材や活動団体の育成	-0.18	0.71
	㉓まちのブランド化の推進	-0.29	0.93
【5】少子化対策と次代を担う人材育成	㉔戦略的なシティプロモーション（情報発信）	-0.40	0.82
	㉕子育て支援サービスの充実	-0.28	1.17
	㉖教育環境の充実	-0.35	1.14
	㉗小中連携教育の推進	-0.35	0.79
【6】その他	㉘地域全体で子どもたちを育てる環境整備	-0.39	0.94
	㉙各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援	-0.15	0.59
	㉚透明で効率的な行政運営	-0.48	1.06

- ・生活環境について、一番住み良いと感じる人が4地区の中で最も多い。
- ・「働く場がある」「通勤通学の利便性」、「地域の企業が元気」「娯楽施設が多い」という印象が低い。
- ・「人口が減っている」と実感している人は、4地区の中で最も少ない。

【修善寺居住者のご意見（抜粋）】

- ・修善寺駅前や駅周辺に魅力を感じない。熱海駅のように何か考えれば成功しないだろうか。
- ・駅が綺麗になっても商店街の活気がないため、観光地としてもう少し見直すべきである。
- ・子どもの居場所として、児童館（無料で使えるコミュニティ）が無い。
- ・市に働く場所がなければ人は増えない。企業誘致が第一ではないか。
- ・人口減少と高齢化は避けられない中、市のコンパクト化が必要ではないか。
- ・修善寺駅周辺の渋滞緩和に向けた取組が必要である。
- ・中伊豆温泉病院の活性化、移転、規模拡大を積極的に進めて欲しい。
- ・修善寺と言えばやはり温泉のイメージなので、もう少し温泉のある施設が欲しい。

5. 伊豆市の施策に対するご意見と満足度・重要度（中伊豆地区の特徴）

■伊豆市の施策について

中伊豆地区において、満足度が低く、重要度が高い施策としては、「④道路・公共交通の整備」、「⑤地域産業を担う人材の育成・確保」、「⑯企業誘致・留置の推進」、「⑲空き店舗等の活用促進」、「㉒教育環境の充実」が挙げられる。

一方で、満足度が高く、重要度が低い施策としては、「⑤健診や講座などの健康づくり活動」、「⑪豊かな自然環境の保全」、「⑫魅力ある景観の形成」、「⑭歴史・文化資源の保存、継承、活用」、「㉓各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援」が挙げられる。

以上より、産業力の強化、「㉒まちのブランド化の推進」、「㉔戦略的なシティプロモーション」、「㉖教育環境の充実」などが重要だと考えられている。

青…満足度が低く、重要度が高い施策

赤…満足度が高く、重要度が低い施策

※全市の施策評価の平均値と比較した場合

大項目	項目	地区別	
		中伊豆	
		満足度 〈評価点〉	重要度 〈評価点〉
【1】機能的で魅力あるネットワーク型コンパクトタウンの形成	①魅力ある中心市街地づくり	-0.43	0.65
	②各地域における交流・賑わいの創生	-0.44	0.64
	③適切な公共施設の設置	-0.39	0.75
	④道路・公共交通の整備	-0.54	1.26
【2】安全で心地よい生活環境づくり	⑤健診や講座などの健康づくり活動	0.20	0.67
	⑥地域医療・消防・救急体制の確保	-0.02	1.09
	⑦高齢者への福祉サービスの充実	0.02	0.91
	⑧障がい者を支援する環境づくり	-0.15	0.92
	⑨都市計画の見直し	-0.54	0.85
	⑩良好な住環境の創出	-0.22	0.88
	⑪豊かな自然環境の保全	0.16	0.78
	⑫魅力ある景観の形成	0.03	0.76
	⑬地域防災・防犯体制の強化	0.02	1.07
	【3】産業力の強化	⑭地域資源を活用した観光事業の推進	-0.31
⑮地域産業を担う人材の育成・確保		-0.45	1.22
⑯企業誘致・留置の推進		-0.69	1.15
⑰農林水産品の6次産業化の推進		-0.20	0.92
⑱起業・創業支援体制の充実		-0.50	0.84
⑲空き店舗等の活用促進		-0.69	0.98
【4】個性的な市民文化の創造と情報発信	⑳地域づくり協議会制度の推進	-0.26	0.58
	㉑歴史・文化資源の保存、継承、活用	-0.07	0.64
	㉒地域で活躍する人材や活動団体の育成	-0.29	0.70
	㉓まちのブランド化の推進	-0.37	1.02
【5】少子化対策と次代を担う人材育成	㉔戦略的なシティプロモーション（情報発信）	-0.36	0.94
	㉕子育て支援サービスの充実	-0.24	1.17
	㉖教育環境の充実	-0.45	1.19
	㉗小中連携教育の推進	-0.25	0.80
【6】その他	㉘地域全体で子どもたちを育てる環境整備	-0.27	0.97
	㉙各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援	-0.17	0.57
	㉚透明で効率的な行政運営	-0.32	1.00

- ・「住み続けたい」と感じている人が4地区の中で最も多い。
- ・「働く場がある」「通勤・通学の利便性」「文化・芸術にふれる機会」「地域の企業が元気」という印象が低い。
- ・「自治会などの地域活動の担い手が足りなくなった」と感じる人が4地区の中で最も多い。

【中伊豆居住者のご意見（抜粋）】

- ・修善寺に集中しないで旧町にも拠点になる場所があれば良い。
- ・中心地から離れている人にとっては、今ある各地域の施設の充実にも力を入れて欲しい。
- ・他の観光地への通過点にするのではなく観光客に立ち寄ってもらえるようなまちづくりが必要である。
- ・少子化で生まれる子どもが減っている中、少ないからこそ出来るきめ細かい支援をするべき。
- ・お年寄りが多くなり車に乗れなくなる方が増えた時に、近所の人達の足となるタクシー又はバスの代わりとなるようなワゴン車タクシーを用意してくれると非常に助かる。

5. 伊豆市の施策に対するご意見と満足度・重要度（天城湯ヶ島地区の特徴）

■伊豆市の施策について

天城湯ヶ島地区において、満足度が低く、重要度が高い施策としては、「④道路・公共交通の整備」、「⑨都市計画の見直し」、「⑯企業誘致・留置の推進」、「⑳教育環境の充実」、「㉑小中連携教育の推進」が挙げられる。

一方で、満足度が高く、重要度が低い施策としては、「①魅力ある中心市街地づくり」、「⑤健診や講座などの健康づくり活動」、「㉒歴史・文化資源の保存、継承、活用」、「㉓地域で活躍する人材や活動団体の育成」、「㉔各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援」が挙げられる。

以上より、ネットワーク型コンパクトタウンの形成に向けた「③適切な公共施設の設置」、「④道路・公共交通の整備」、少子化対策と次代を担う人材育成などが重要だと考えられている。

青…満足度が高く、重要度が高い施策
赤…満足度が高く、重要度が低い施策
※全市の施策評価の平均値と比較した場合

大項目	項目	地区別	
		天城湯ヶ島	
		満足度 〈評価点〉	重要度 〈評価点〉
【1】機能的で魅力あるネットワーク型コンパクトタウンの形成	①魅力ある中心市街地づくり	-0.17	0.68
	②各地域における交流・賑わいの創生	-0.62	0.70
	③適切な公共施設の設置	-0.56	0.96
	④道路・公共交通の整備	-0.53	1.28
【2】安全で心地よい生活環境づくり	⑤健診や講座などの健康づくり活動	0.13	0.78
	⑥地域医療・消防・救急体制の確保	-0.05	1.18
	⑦高齢者への福祉サービスの充実	-0.03	0.88
	⑧障がい者を支援する環境づくり	-0.17	0.89
	⑨都市計画の見直し	-0.43	1.16
	⑩良好な住環境の創出	-0.24	0.99
	⑪豊かな自然環境の保全	0.08	0.88
	⑫魅力ある景観の形成	-0.29	1.00
	⑬地域防災・防犯体制の強化	-0.12	0.99
	【3】産業力の強化	⑭地域資源を活用した観光事業の推進	-0.16
⑮地域産業を担う人材の育成・確保		-0.42	1.11
⑯企業誘致・留置の推進		-0.76	1.19
⑰農林水産品の6次産業化の推進		-0.28	0.97
⑱起業・創業支援体制の充実		-0.45	0.95
⑲空き店舗等の活用促進		-0.72	0.87
【4】個性的な市民文化の創造と情報発信	⑳地域づくり協議会制度の推進	-0.29	0.63
	㉑歴史・文化資源の保存、継承、活用	-0.09	0.64
	㉒地域で活躍する人材や活動団体の育成	-0.17	0.74
	㉓まちのブランド化の推進	-0.23	0.99
【5】少子化対策と次代を担う人材育成	㉔戦略的なシティプロモーション（情報発信）	-0.38	0.97
	㉕子育て支援サービスの充実	-0.14	1.38
	㉖教育環境の充実	-0.55	1.41
	㉗小中連携教育の推進	-0.36	1.18
【6】その他	㉘地域全体で子どもたちを育てる環境整備	-0.31	1.14
	㉙各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援	-0.20	0.43
	㉚透明で効率的な行政運営	-0.40	1.07

- ・「地域に愛着を感じている」人が4地区の中では最も多い。
- ・「働く場がある」、「通勤通学の利便性」、「文化・芸術にふれる機会」、「教育環境が良い」という印象が低い。
- ・「妊娠・出産、子育てへの支援」に対する要望が4地区の中では最も多い。

【天城湯ヶ島居住者のご意見（抜粋）】

- ・中心市街地を盛りあげることも必要だと思うが、同時に各地域も元気になることがいい。
- ・4地区それぞれの地域の良さと強み、地域ぐるみでのコミュニケーションを大切にしながら、一つの市としての協力関係の構築を改めてつくるのが大切だと思う。
- ・幼稚園跡地、園庭遊具を有効活用すべき。
- ・伊豆箱根鉄道周辺の整備と天城北道路IC周辺の整備。市内主要箇所の道路整備、災害に強い道路整備
- ・オリンピック自転車競技開催を契機とした自転車の普及に向け、他の市にはない自転車道の整備や狩野川河川敷のサイクリングロードへのアクセスを考えるべき。

5. 伊豆市の施策に対するご意見と満足度・重要度（土肥地区の特徴）

■伊豆市の施策について

土肥地区において、満足度が低く、重要度が高い施策としては、「④道路・公共交通の整備」、「⑮地域産業を担う人材の育成・確保」、「⑯企業誘致・留置の推進」、「⑲空き店舗等の活用促進」、「㉖教育環境の充実」が挙げられる。

一方で、満足度が高く、重要度が低い施策としては、「①魅力ある中心市街地づくり」、「⑪豊かな自然環境の保全」、「㉒地域づくり協議会制度の推進」、「㉓歴史・文化資源の保存、継承、活用」、「㉔各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援」が挙げられる。

以上より、「⑥地域医療・消防・救急体制の確保」、産業力の強化、少子化対策と次代を担う人材育成などが重要だと考えられている。

青…満足度が低く、重要度が高い施策
赤…満足度が高く、重要度が低い施策
※全市の施策評価の平均値と比較した場合

大項目	項目	地区別	
		土肥	
		満足度 〈評価点〉	重要度 〈評価点〉
【1】機能的で魅力あるネットワーク型コンパクトタウンの形成	①魅力ある中心市街地づくり	-0.16	0.50
	②各地域における交流・賑わいの創生	-0.63	0.61
	③適切な公共施設の設置	-0.69	0.81
	④道路・公共交通の整備	-0.81	1.21
【2】安全で心地よい生活環境づくり	⑤健診や講座などの健康づくり活動	0.16	0.86
	⑥地域医療・消防・救急体制の確保	-0.34	1.37
	⑦高齢者への福祉サービスの充実	0.09	0.91
	⑧障がい者を支援する環境づくり	-0.30	0.71
	⑨都市計画の見直し	-0.47	0.93
	⑩良好な住環境の創出	-0.33	0.69
	⑪豊かな自然環境の保全	0.00	0.64
	⑫魅力ある景観の形成	-0.21	0.93
	⑬地域防災・防犯体制の強化	0.07	1.00
	【3】産業力の強化	⑭地域資源を活用した観光事業の推進	-0.28
⑮地域産業を担う人材の育成・確保		-0.50	1.17
⑯企業誘致・留置の推進		-0.64	1.20
⑰農林水産品の6次産業化の推進		-0.30	1.02
⑱起業・創業支援体制の充実		-0.19	0.85
⑲空き店舗等の活用促進		-0.74	1.10
【4】個性的な市民文化の創造と情報発信	⑳地域づくり協議会制度の推進	-0.14	0.74
	㉑歴史・文化資源の保存、継承、活用	-0.12	0.65
	㉒地域で活躍する人材や活動団体の育成	-0.35	0.64
	㉓まちのブランド化の推進	-0.30	0.93
【5】少子化対策と次代を担う人材育成	㉔戦略的なシティプロモーション（情報発信）	-0.40	0.83
	㉕子育て支援サービスの充実	-0.47	1.17
	㉖教育環境の充実	-0.50	1.16
	㉗小中連携教育の推進	-0.28	1.12
【6】その他	㉘地域全体で子どもたちを育てる環境整備	-0.33	1.21
	㉙各地域のコミュニティ活動や市民活動の支援	-0.26	0.61
	㉚透明で効率的な行政運営	-0.34	1.00

- ・「住み続けたい」と感じる人が最も少ない。
- ・「人口減少が進んだ場合、将来に不安を感じる」と感じている人が4地区の中では最も多い。
- ・「空き家・空き店舗が増えた」「活気がなくなった」と感じている人が4地区の中では最も多い。

【土肥居住者のご意見（抜粋）】

- ・子ども達が思いきり遊んで、思いきり勉強できるような場所を作って欲しい。
- ・伊豆市の魅力を活かした施策に力を入れていくべき。住民や観光客がSNSに載せたいと思うような場所やイベントの開催があると良いと思う。
- ・高齢者にとっての交通手段の確保等を願いたい。
- ・働く場所を増やして、若者が多く安心して子育てが出来る町にしてほしい。高齢者ばかりでは何もできない。若者が増えれば自然と活気もでてくる。
- ・年を取ると病院が心配。遠くまで行かなくても近くに総合病院があると安心。
- ・交通の便が悪いと思うので、道路の整備や公共交通機関の運賃の見直しをするべき。